

経営発達支援計画地域経済動向調査結果（業況等の概要）

1 調査概要

- (1) 調査期間 令和3年11月～12月
- (2) 調査対象事業所 49事業所
(建設業6、製造業10、卸・小売業9、サービス業10、
飲食サービス業8、運輸業6)
- (3) 調査対象期間 令和3年7月～9月
- (4) 調査方法 調査票に基づき訪問又は郵送にて回答
※調査票の様式は、全国商工会連合会が全国の各単会を通じて四半期ごとに調査している調査票の様式に従った。

2 調査結果業況概要（※1）前年同期=令和2年7月～9月、（※2）前期=令和3年4月～6月）、 （※3）来期の見通し（令和3年10月～12月）

(1) 建設業

- ・前年同期比では不変とする回答が多いが、資金繰り、材料仕入単価が好転しているとの回答も多。
- ・前期（※1）比では不変とする回答が多いが、完成工事件数が増加しているとの回答も多。
- ・前年（※2）同期と比べた来期（※3）の見通しは不変とする回答が多いが、完成工事の件数、材料仕入単価の上昇、外部人材が増加しているとの回答も多。
- ・今期の業況水準は普通とする回答が多いが、採算は黒字化しているとの回答も多。

(2) 製造業

- ・前年同期比では売上額・数量とも増加となった一方で、現材料仕入単価が上昇しているとの回答も多。
- ・前期比でも売上額・数量とも増加となった一方で、現材料仕入単価が上昇したが採算は好転しているとの回答も多。
- ・前年同期と比べた来期の見通しでは、売上額・収量が減少した一方で、原材料仕入単価が上昇しているとの回答も多。
- ・今期の業況水準は悪化しているとの回答が多。

(3) 卸・小売業

- ・前年同期比では商品仕入額が増加し、売上額・客数とも減少、採算が悪化しているとの回答が多。
- ・前期比では不変とする回答が多。
- ・前年同期と比べた来期の見通しでは、商品仕入額が増加し、採算・業況とも悪化しているとの回答が多。
- ・今期の業況水準は不変との回答が多いが、一方で従業員が減少しているとの回答が多。

(4) サービス業

- ・前年同期比では売上・客数・客単価ともに増加するとの回答が多い一方で、資金繰り・採算が悪化しているとの回答が多。
- ・前期比では売上が増加するが資金繰りが悪化しているとの回答が多。
- ・前期と比べた来期の見通しでは、売上が増加するが利用客数は減少、資金繰り・採算が悪化しているとの回答が多。
- ・今期の水準：不変であるとの回答が多。

(5) 飲食業

- ・前年同期比では売上・客単価・利用客とも減少し、採算・業況も悪化しているとの回答が多。
- ・前期比では売上・客単価・利用客とも減少、業況も悪化しているとの回答が多。
- ・前期と比べた来期の見通しでは、仕入単価が増加する一方で採算・業況が悪化しているとの回答が多。
- ・今期の水準：業況・採算とも悪化しているとの回答が多。

(6) 運輸業

- ・前年同期比では不変ととする回答が多いが、採算・業況は悪化しているとの回答が多。
- ・前期比では売上が減少し、資金繰り・業況とも悪化しているとの回答が多。
- ・前期と比べた来期の見通しでは、仕入単価の上昇、従業員が増加する一方で、採算・業況は悪化しているとの回答が多。
- ・今期の水準：業況・採算とも悪化、従業員が減少しているとの回答が多。

経営発達支援計画地域経済動向調査結果（今期の経営上の問題点）
（上位3項目）

（1）建設業

- ① 人件費の増加、 ①下請価格の上昇、 ①熟練技術者の確保難

（2）製造業

- ① 原材料価格の上昇、 ②需要の停滞、 ③生産設備の不足・老朽化、
③ 熟練技術者の確保難

（3）卸・小売業

- ① 消費者ニーズの変化への対応、 ①販売単価の低下・上昇難、 ①需要の停滞

（4）サービス業

- ① 利用料金の低下・上昇難、 ①従業員の確保難、 ③需要の停滞、
③ 利用ニーズへの変化への対応

（5）飲食サービス業

- ① 需要の停滞、 ②店舗設備の狭隘・老朽化、 ②利用料金の低下・上昇難
② 材料等仕入単価の上昇

（6）運輸業

- ① 従業員の確保難、 ②人件費の増加、 ②人件費以外の経費の増加